

今月の題字



熊野第三小学校5年生
植尾 珠輝さん



三年 みや本 ふう花

熊野第三小学校 3年 宮本 楓花さん

【評】中心に気を付けて書きました。丁寧で伸びやかな字になっています。



熊野第三小学校 1年 本田 七奈史さん

【評】運動会で玉入れをしている様子が楽しく表現できました。肌や体操服の色など、いろいろな色を重ねてしつかり描けています。

町の人口と世帯数

平成23年12月31日

(前年同月比較)

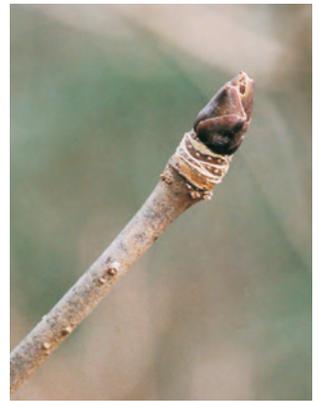


(住民基本台帳)

熊野の自然 (269)

タカノツメ

(ウコギ科)



冬は落葉樹の冬芽や葉痕などを観察して楽しんでいきます。葉が落ちると、枝に痕跡が残ります。それが葉痕です。この写真では、細かい三日月状の部分が葉痕です。葉痕の中に点々とあるのは維管束痕で、維管束は水や養分の通り道です。同じウコギ科のコシアブラとは冬芽や葉痕がそっくりです。しかし維管束痕は、コシアブラが11〜16個と多く、タカノツメは5〜9個と少ないので区別できます。枝先に葉が束生し、毎年少しずつ伸びる短枝があるのが特徴の一つです。短枝は曲がり、何年もの葉痕が並んで「鷹の爪」に似ているので、名前が付きました。材が芋のように軟らかい

ため、別名イモノキ。白い材は箱、杓子、経木、箸などに利用されてきました。葉は長い柄のある3枚葉で、縁には微細な鋸歯があり、葉先は鋭く尖ります。晩秋には美しく黄葉します。雌雄異株で5〜6月、短枝の先に黄緑色の小さな花が丸く集まって咲きます。果実は直径5mmほどの球形で、秋に黒く熟します。高さ5〜15mの落葉樹で、樹皮は灰白色で滑らかです。日本特産で九州以北に分布。熊野町ではほぼ全域で見られ、土岐城山、竜王山などには多く生えています。タカノツメ属は、もう1種が中国にあるだけです。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

広報「くまの」・熊野町ホームページ 広告掲載募集!

広告掲載料金には、割引があります。(ただし、1回の申し込みで3月分以上の申し込みが条件。)

月数	割引率
3月以上6月未満	5%
6月以上9月未満	10%
9月以上12月未満	20%
12月	30%

※詳しくは、総務課 TEL820-5601



↑熊野町ホームページ

平成24年度分の広告を募集中!

最高割引30%は、1年間(12ヵ月)の一括契約のみです。広報紙は2月末、ホームページは3月19日(月)までにお申し込みください。